

水道施設未利用水力導入可能性調査業務業務公募型プロポーザル評価項目別結果

評価項目等	評定 (満点)	株式会社日水コン (A社)	株式会社荒谷建設 コンサルタント (B社)	八千代エンジニアリン グ株式会社 (C社)	特記事項
1 実施方針等					
○ 本業務の目的を十分理解し、それを踏まえた具体的な方向性や目指すべき姿を提示しているか。	20	14	14	15	A社：水道施設の機能・運転に支障なく発電を行うことを明記しており、水道の特性を理解している。 B社：「市町等が導入可否を自律的に判断できるレベル」という具体的な目標を設定している。 C社：コスト意識を持ち、将来のリスクも視野に入れて検討している。
2 事業内容					
(1)サウンディング調査項目の検討・作成					
○調査項目が具体的で、目的達成に必要な項目が網羅されているか。 ○調査項目の選定方法・理由等が妥当であり、提案内容に説得力があるか。	40	24	28	28	A社：水道事業の特殊性を踏まえて、実務に活かせる具体的な情報収集のための項目選定と理解できるものに、より具体的な内容について明記されたい。
(2)サウンディング対象事業者の選定					
○対象事業者の選定基準等が明確で、多様な視点からの提案を得るための工夫が示されているか。	40	24	28	26	A社：水道施設の構造、運用を理解している企業に限定するなど、選定基準が明確である。 B社：公募方式に加えて、提案者のネットワークを活用するなど、多様な事業者から意見を得るための工夫がある。 C社：対象事業者からの提案を引き出す工夫に挙げられた項目は具体的、かつ効果的であると考えられる。
(3)サウンディング調査の実施及び中間報告					
○調査手法が現実的であり、効率的かつ適切に調査を進めるための工夫が盛り込まれているか。	40	24	30	34	A社：サウンディング調査方法について現実的な提案である。 C社：複数案の提示や事業性の検討に当たっての提案など、民間事業者の視点に立った提案となっている。
○調査結果を設備導入条件の検討にどう活かすかが分かりやすく説明されているか。	40	22	30	34	A社：調査結果を次の工程にどのように活かしていくかという観点の説明が不足している。 B社：調査データの活用方法が具体的であり、理解を助ける工夫がなされている。 C社：リスク改善策の整理や変更・対応方針の発注者協議など、具体的な対策案がある。
(4)設備導入条件等の検討及び事例収集					
○設備導入条件や課題整理の方向性が明確に示されており、設備導入を検討する際に必要となる内容として、説得力があるものか。	40	24	34	34	A社：実績等に基づき着地点も見据えたとりまとめが期待できる。 B社：検討対象施設の情報を項目立てて具体的に整理されており、比較検討を容易に行えることが期待出来る。 C社：想定リスクも考慮した整理がなされている。
3 実施体制等					
○ 本業務の目標達成に必要な知見や専門知識、ノウハウ、実績を有しているか。	20	13	14	18	B社：過去に小水力を導入した実績を有している。また、水道施設関連の技術者を有しており、現実的な対応が期待できる。 C社：類似業務に係る技術者の実績や資格者を明記しており、本事業へ配置する執行体制となっている。
○ 業務スケジュールは具体的で、業務遂行可能な人員の確保、業務に精通した担当者の配置、県と随時連絡できる体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。	20	13	14	15	
4 業務実績					
○ 類似業務の適正な実績又は優位性（提案者の強み）が認められること。	20	13	15	18	
5 経済性 ※事務局で入力済み					
○ 配点（4）×提案者中の最低見積額／当該提案者の見積額小数点第2位を四捨五入	20	19.5	19.5	20	
総合値（委員全員の評価値の合計）	300	190.5	226.5	242.0	